

## 令和元年度 第2回二宮町政策評価委員会 議事要旨

開催日時		令和2年1月17日（金） 10:00～12:15		
開催場所		二宮町役場 第1会議室		
出席者	委員	出席7名 湯川 恵子 委員、川上 敏久 委員、寺岡 護 委員、 小野寺 裕美 委員、三神 厚 委員、山崎 友彰 委員、 片岡 宇一郎 委員		
	町	-		
	事務局	政策総務部企画政策課3名		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数 0人
会議次第	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 議 題 (1) 二宮町総合戦略評価に対する意見等について (2) 二宮町総合戦略評価に係る意見書（案）について (3) その他 4. 閉 会			
配布資料	資 料1 二宮町総合戦略評価に対する意見等 資 料2 二宮町総合戦略評価に係る意見書（案） 参考資料1 令和元年度 第1回二宮町政策評価委員会 会議要旨 参考資料2 平成30年度 二宮町総合戦略評価について（意見）			

## 【議事要旨】

### (1) 二宮町総合戦略評価に対する意見等について

(主な意見交換等)

※ ◎：会長、○：委員、●：事務局

#### 基本目標1 施策：公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり

- 前回の評価委員会で議論した②と③の評価判断について、これまでの取り組みを良いと評価し②とするのか、もしくは将来的な取り組みへの期待値を込めて③とするのか、改めて確認したい。東大果樹園跡地利用について、前回は取り組みを評価すると結論を出したが、将来的に課題を抱えているという現実も踏まえると、③と評価するのが適していると思う。また、「施策：特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成」も評価を②と変更してもいいと思う。
- ◎ 評価の判断として、これまでの取り組みを重視し評価するのか、それとも将来的な取り組みも含め評価するのか、事務局はどのような方針をもっているのか。
- 評価としては、これまでの取り組みを評価するものと考えます。将来的な取り組みについては、意見の文書の中で付記するものと捉えています。
- ◎ 実際携わっている町民の方の声を評価に反映する方が良いと思うが、いかがか。
- 評価基準が、4つ中3つが肯定的で、1つが否定的なものになっており、バランスが取れていない。4つの評価区分を設定した理由は何か。
- 国が策定する「まち・ひと・しごと・創生総合戦略」で示されている評価基準を準用しています。
- 評価基準自体の変更は難しいと思うが、③については「地方創生に効果があった」という文面を、全体的なバランスから少し否定的な評価として読み替えてもいいと思う。
- 今回評価した内容は、令和2年度の予算に反映できるのか。
- 今回の評価は、令和2年度以降の取り組みに反映することになります。ただし、予算計上が必要になった場合は、令和3年度以降の反映になります。
- 取り組みが停滞しないためにも、評価内容をすぐに反映することが求められる。予算への反映が令和3年度以降になるといっていると、動きが遅いと感じる。
- 予算計上だけが、評価の反映となるではありません。今回の評価を踏まえた町の最終方針は、令和2年度からの取り組みに反映できます。
- 町民の意見が優先されるべきであり、③へ変更でいいと思う。評価の変更に伴い、文言も一部修正する必要がある。
- ◎ 各委員からの個別意見の中で、評価委員会後に追加された意見について意図を確認したい。新庁舎の計画や町政に対する批判の意見が強いものがあるが、前回の評価委員会ではそこまでの議論がなされていない。個人的な意見である

としても、会議資料としても残るものなので、意見をされた経緯をお伺いしたい。

- 地区活動や新庁舎建設の検討委員会への参加等を通じて、個人的に感じた実直な感想である。これまでの町の取り組みについても理解をしているので、まだまだこれから頑張ってもらいたいという期待を込めた意見として捉えてもらいたい。
- ◎ 委員の意見を踏まえると、③に評価を変更する方向性で良いと思う。東大果樹園跡地利用に携わっている方々の活動のモチベーションを下げてしまわないように、活動は評価しつつ、課題を抱えている現状が分かるような表記が必要である。
- 前回の議論でも確認したとおり、駅前町民会館を廃止したことにより、延べ床面積の削減は目標値を達成していたため評価できると思う。
- 町の2次評価が①で、評価委員会の評価が③になると、評価に大きな差が生じるが問題ないのか。
- 町は、KPIの達成状況を根拠にした評価になっています。評価委員会では、KPIの達成状況だけでなく、これまでの経緯等も含めて総合的な意見をいただきたいと考えているため、評価に差が生じることは十分に考えられます。
- ◎ 数値的な判断だけでなく、町民感覚等の定性的な要素も加えて評価することが評価委員会としての役割になると思う。町との評価の差は当然生じることになると思う。
- 現在設定されているKPIが、施策の進捗を判断するために適切に設定されていないため、評価委員会の意見として入れてほしい。
- 評価委員会の意見で、前段部分が定形文になっていると思うが、「KPIの達成状況などは芳しくないため」の部分は、KPIの達成状況との整合性がとれていないため、修正する必要がある。
- ◎ 評価委員会としては、③と評価し、いただいた意見を踏まえ、意見を修正することとする。

#### **基本目標1 施策：誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり**

- 地域の通りの場の取り組みも評価できるため、そのままの評価でいいと思う。
- ◎ 評価委員会としては、②と評価し、意見の修正はなしとする。

#### **基本目標1 施策：地域コミュニティの醸成支援**

- 一色小学校区地域再生協議会の取り組みも評価できるため、そのままの評価でいいと思う。
- ◎ 評価委員会としては、③と評価し、意見の修正はなしとする。

## 基本目標 1 施策：災害や犯罪に備える地域づくり

- 地区防災マニュアルは、全地区の策定には至っていないが、地区の取り組みも活発になっており、町民の防災意識は高まりつつあるため、評価を②にしてもいいと思う。
- ◎ KPI の達成状況は良くないが、達成に向けてのある程度の目処が立っているとの背景もあるので、評価できる要素はあると思う。
- 取り組みは頑張っているが、広報が足りていない。
- それぞれの取組みへの頑張りは理解できるが、防災対策は長期的に取り組んでいくものであるため、まだまだ取り組んでいく必要がある。
- ◎ 他の施策にも言えることだが、評価委員会の意見の中で、評価すべき点と課題が同じ文章で表記されているため、マイナス意見に引っ張られる恐れがある。評価すべき事項もしっかりと打ち出すためには、表記を分けるべきである。
- ◎ 「対外的に打ち出せる」という表記は、町内の発信力を示しているのか、それとも町外への発信力を示しているのか。町内に取り組みが十分に周知されることで、町の防災力が魅力と認知され、その魅力が町外にも発信されるという意味であるならば、表記を修正するべきである。
- ハザードマップ等の災害に対する町の備えを、町内に情報発信していると思うが、発信した情報が町外にも波及していくなどの効果も実は期待できるのではないか。情報発信をするだけで、町内だけでなく、町外へと繋がり、防災の取り組みや防災力の高さが、町の魅力へとなるように生かせれば良いと思う。
- 昨年の台風での被害が少なかった実績なども含め、町外への魅力は十分あると考えるため、「町外への魅力発信」という意味は残してほしい。
- ◎ 評価委員会としては、③と評価し、いただいた意見を踏まえ、意見を修正することとする。

## 基本方針 2 施策：「にのみやLife」の提案と発信

- 評価委員会の意見の中で、「都市部の人たちが二宮の海や東大果樹園跡地の取り組みに触れて」という表記が気になる。自然と東大の取り組みを並列に表記するとレベル感が不自然であり、東大の取り組みは課題があるとの意見も出ていたので、東大の方は削除してしまってもよいと思う。
- 東大跡地は、町民の有志の方々が協議会を組織し、子どもから大人まで、多種多様な人が交流できる場を目指し、町有地の有効活用に取り組んでいただいています。町民が主導的に取り組んでいるという活動に対する魅力、また、その活動により創出される交流の場の魅力が、町外の人への魅力となると考えています。
- 東大果樹園跡地の取り組みと限定してしまうと、せっかくの魅力の意味が狭まってしまう。活動されている方や交流の場は資産となるため、表現を工夫し

た方がよい。

- 協議会では、子どもが自然で遊べる場や、パラスポーツ、マルシェなど、世代を超えた様々な人が交流できる場を提供し、土地を有効活用している。東大果樹園跡地と限定せずに、人の魅力等に焦点を当てたほうがよい。
- 意見を踏まえ、町の自然の魅力と町民活動の魅力を併記する方向で、修正します。
- ◎ 評価委員会としては、③と評価し、いただいた意見を踏まえ、意見を修正することとする。

#### **基本方針2 施策：二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり**

- 評価委員会の意見の構成として、KPIの指摘事項は最後の段落ではなく、2段落目で表記すると、流れがスムーズだと思う。
- ◎ 評価委員会としては、③と評価し、いただいた意見を踏まえ、意見を修正することとする。

#### **基本方針2 施策：特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成**

- ◎ 先ほど、これまでの取り組みを評価するとして、②に評価を変更した方がよいという意見が出たがいかがか。
- 今年度から一色小学校区以外の4校でもコミュニティスクールが始まり、今後ますます地域と町が連携する重要な事業になると思う。今後の期待も込めて、②に評価を変更した方がよい。
- KPIの達成状況も良い。今後、各コミュニティスクールは、それぞれの特色を出すための努力をしていくので、取り組みとして期待が出来る。
- 評価を変更する場合、評価意見の整合性も見直すべきである。
- 国や県に働きかけることが述べられているが、他の項目でも同様に実施されているため、あえて表記する必要がないと思う。
- 町では、実際に国や県に要望書を提出しているため、その部分について削除します。
- 2段落目と3段落目の内容が、コミュニティスクールに特化しているため、段落の統合をお願いする。
- ◎ 評価委員会としては、②と評価し、いただいた意見を踏まえ、意見を修正することとする。

#### **基本目標3 施策：子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり**

- 待機児童問題を解消したと断言はできないため、表記を検討すべきである。
- ◎ 同様に、子育て世代の満足度が低いと断言してもよいのか、検討する必要がある。そもそもKPIの設定として、適していないのかもしれない。例えば、第

1 希望の保育園に入所できた児童の割合などにすれば、子育て世代のニーズと満足度のリンクが出来てくるような気がする。待機児童問題については、時点設定をするなどすれば誤解が生じないと思う。

- 子育て世代の満足度が低いとしたら、その原因やニーズはどうなっているのか。適切なニーズの把握が、町の効果的な取り組みにも、町民の満足度にも繋がるのだと思う。
- ニーズ分析の手法はどうするのか疑問である。過去に実施したアンケートのデータだけでは、ニーズの分析というより、まずニーズの把握することが現実的だと思う。
- 子育て世代の不安はつきないものであり、常にニーズの把握をしていく必要がある。
- ◎ 評価委員会としては、③と評価し、いただいた意見を踏まえ、意見を修正することとする。

### 基本目標3 施策：子育てと仕事の両立の推進

- 前段に KPI の達成状況が芳しくないと表記されているのに、2 段落目に KPI に課題があるとなっており、整合性がないため、修正をした方が良いと思う。
- KPI 以外にも意見を付記するべきではないか。
- KPI だけでは評価が出来ないため、関連性のある「施策：子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり」と一体的に評価した結果、この施策が進んでいないという結論としてまとめました。
- 意見の根拠をもう少し追加するべきだと思う。町民の中で、町内で働く人は限られており、町外で働きに行く人の子育てと仕事の両立に焦点を当て、評価ができるようにするなどの意見を追加してもいいのだと思う。
- ここの施策でもニーズの把握は重要になっていると思うので、表記を追加すると良いと思う。
- ◎ 評価委員会としては、③と評価し、いただいた意見を踏まえ、意見を修正することとする。

### 基本目標4 施策：地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり

- 町は商工会と連携して取り組んでいるものの、なかなか KPI のような数値で確認できるような成果に繋がっていない。取り組みと KPI の紐づけが難しいと思う。
- ◎ 評価委員会としては、③と評価し、意見の修正はなしとする。

#### 基本目標4 施策：町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討

- KPIの達成状況は順調ではあるが、基本目標と施策の取り組みとのマッチングは疑問を感じる。
- ◎ 評価委員会としては、②と評価し、意見の修正はなしとする。

#### 基本目標4 施策：身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出

- オリーブの取り組みは、町と商工会の目標がまだ一致できておらず、一体的に進められていない気がする。オリーブの生産量もまだまだ少ない。
- ◎ 評価委員会としては、③と評価し、意見の修正はなしとする。

### (2) 二宮町総合戦略評価に係る意見書(案)について

(主な意見交換等)

※ ◎：会長、○：委員、●：事務局

- 総合戦略は人口減少に対応すべく事業を位置づけていると思うので、意見書を読んだ人に理解しやすくするために、人口減少への対応の視点を入れると良いと思う。
- 町は様々な取り組みを推進しているが、単に実施するだけでなく、町民目線を意識して取り組んでほしい。例えば、公共施設予約システムでは、制度的には良いと思うが、利用画面が分かりづらいことなどもあり、町民目線が不足しているように感じられる。他の取り組みでもそういった点が見受けられる。
- 昨年度の意見書に表記されていた、「町民と地域との連携や持続可能な組織やシステムの構築」は今後ますます重要になるため、今回の意見の中にも表記しておくべきである。
- ◎ 総論の構成について、委員会としての方向性を改めて確認したい。基本目標ごとに重要な点を表記するのか、もしくは基本目標の枠組みを問わず、重要な点を抽出するのか、どちらにするのか意見をお伺いする。
- 評価委員会では、政策の優先順位等が判断できないため、基本目標ごとに意見を抽出した方が良いと思う。
- 各施策の評価と意見は別紙で説明されているため、総論では、評価委員会で強調したい点を表記するべきだと思う。
- 施策の評価が高かったもの、低かったものにそれぞれで共通する事項を触れられると良いと思う。また、KPIの検証などもあわせられると良いと思う。
- ニーズの把握、情報提供方法が全体的な課題になってくると思う。
- ◎ 意見を踏まえ、総論では、基本目標の枠に囚われず、評価委員会で強調したい点を述べることとし、評価できる点はしっかりと記載したうえで、全体的に共通している課題について意見をまとめる。なお、人口減少への対応の視点、町民目線に基づく取り組み、ニーズの的確な把握、情報提供の方法、町民や地域との連携体制の重要性などについては、意見書の重要な要素となることから、

意見書をまとめる際に留意することとする。

- 評価委員会のあり方として、2回開催では議論が尽くせない。勉強なども踏まえると、3回の開催としてもいいと思う。次回以降の開催に向け検討をお願いする。

### (3) その他

- ・ 本日の議論を基に、事務局で修正案を作成します。ご意見がありましたら、事務局にご提出ください。なお、最終的なとりまとめは、会長一任でお願いいたします。
- ・ 本日の議事録を作成するため、確認作業にご協力ください。

【以 上】